



5月になりました。生徒たちは最高学年の3年生として、毎日生き生きと学校生活を送っています。
4月23日のPTA学年部会で、6月下旬に予定されていた修学旅行は行き先を県内に変えて実施のすることになりました。詳しい行程は5月半ばにお知らせできると思います。待ちに待った修学旅行が、誰にとっても思い出に残るものとなるように準備をすすめていきましょう。

学びの足跡 4/20 道徳の時間

- ◆道徳「父のひと言」は、上野動物園の園長を務めた中川志郎さんの経験談です。
- ◆中川さんは、動物園で働くという子どもの頃からの夢を叶えるために臨時職員として働いていましたが、正規職員の採用試験に落ちてしまいます。絶望し、好きだった仕事を投げ出して実家に帰ってしまいました。
- ◆家に帰った中川さんに父は、「お前のカワウソが淋しがっているぞ。」と言いました。それを聞いた中川さんは、すぐさま汽車に飛び乗り園に戻ります。
- ◆その後、中川さんは正規職員の試験に受かり、最後は園長も務めました。あの日の「父のひと言」が今も忘れられません。

A



- ◆責任をもってやり遂げることで、次からも何かを頼まれることがあります。責任を果たすことは信頼を得ることにつながると思います。今日の授業で責任感の大切さがわかりました。(A組K. K.)
- ◆私は猫を飼っています。最初は世話をするのが楽しかったけれど最近はそれがしんどいと思うことが多くなりました。しかし、自分が望んで飼い始めたのでこれからは責任を持って世話をしようと思いました。責任を果たすことは難しいことですが、自分がすべきことを途中でやめるのは無責任なので、そうならないように頑張ります。(A組G. S.)

B

C

学びの足跡 4/18 合同学活



- ◆「役に立つ役割・役に立たない役割」というワークショップを通して、話し合いに参加する姿勢について考えました。
- ◆「役に立たない役割」とは、妨害役・おしゃべり役・無関心役でした。
- ◆「役に立つ役割」とは、励まし役・アイデアを引き出す役・質問役でした。
- ◆有意義で建設的な話し合いを作るためのヒントを得ることができました。



◆話し合いをする上で、メンバーがその会議に参加する気があるのかないのかで、話し合いの質が変わることが改めてわかりました。誰か一人が関係のない話をしていて、それに別の人に乗ってしまうと話し合いが進まないことは、今までの経験で分かっていました。だから、これからの話し合いは、集約的な話し合いかもの見方を広げる話し合いかを区別して、なるべく建設的な話し合いになるようにしていきたいです。(B組M. K.)